

映画『爆弾』のInvisible VFX

細部から生まれる迫力のメソッド

TREE VFXチームによる制作秘話

2025年10月31日公開の映画『爆弾』で、当社のTREE VFXチームがVFX制作に携わりました。『爆弾』は日本アカデミー賞にて最優秀助演男優賞、優秀作品賞を含む12部門で受賞する等、多数の受賞を果たしています。

本作では、「迫力は出したいが、嘘っぽい映像にはしたくない」というAOI Pro. 永井聡監督の意向から、爆発を中心とした本来CGで作成するようなシーンを可能な限り実写で撮影しています。そのうえで、VFXでは「破片」や「煙」などで細部の表現を緻密に作り込み、リアリティを損なわずに映像の迫力を最大化することに努めました。

作品の重要な核となる、爆発の規模や火薬の量については、専門家の意見を参考に検証し、科学的な裏付けのもとVFXを制作。

さらに、爆発のエネルギーが画面全体に伝わるような表現を意識して、ディテールにもこだわりました。爆薬を仕込んでいた機械の部品をCGを用いて周囲に飛散させたり、実写では動いていない爆心地周辺の看板や軒先などに爆風の影響による動きを追加することで、観客に「迫力」や「危険さ」をリアルに感じていただける仕上げを目指しました。



©呉勝浩/講談社 ©2025映画『爆弾』製作委員会



萩野 夏生

CGスーパーバイザー

ベストセラー小説原作の大作映画に恥じないよう、現場スタッフ共々努めました。満足いく出来となり、世の中的にも大好評で胸をなでおろしています。作品の特性上、爆発部分が目立ちますが他にも色々なことをしています。背景作成や街の群衆、スタジオ撮影の車体への背景の映り込みなど、細部にまでこだわり丁寧に仕上げました。



黒木 涼平

コンポジター

映画『爆弾』では、別のロケ地で実際に火薬を使って撮影した爆発を、オンライン編集で秋葉原や阿佐ヶ谷駅に見えるよう丁寧に合成しています。エキストラや車も色々な素材を組み合わせ、自然に馴染むよう細部まで調整しました。本作で初導入した“Mass”[※]で制作チームやCGチームと円滑に連携し、迫力ある映像に仕上げています。

TREE VFXとは

CG・撮影・DIT・撮影機材・スタジオ・ポストプロダクションなどの全工程をワンストップで実現するサービスです。CGと実写を組み合わせたハイクオリティなVFX制作を、専門チームを立ち上げて手掛けています。



2026年3月31日(火)～Netflixで独占配信 & Blu-ray・DVDが5月1日(金)発売決定!!
まだご覧になっていない方は、この機会にぜひお楽しみください!



TREE VFXお問い合わせ
MAIL: tree_vfx@tdsi.co.jp
←お問い合わせフォームはこちら

※「Mass」とは、ビジュアル・グラフィックス株式会社がSaaS展開する映像制作向けクラウドプラットフォームです。大容量のデータをスムーズに高セキュリティでやりとりでき、映像制作を円滑に進めることが可能です。